

「家族の立場からの身体拘束廃止について」

（独）呆け老人をかかえる家族の会
笹森貞子

1. 「私も60%の1人でした」への反省
2. 「家族の了解・家族が望むから」の一人歩き
3. 1999年家族の会「医療・福祉施設における痴呆の人の拘束を廃止する条件に関する調査研究」より
4. 介護家族は「身体拘束廃止」にどうかかわるか
 - ① 「身体拘束禁止」の対象となる行為を知る
 - ② 身体拘束の弊害を理解する
 - ③ 家族は基本的に身体拘束を認めない姿勢を持つ
 - ④ 本人の情報を施設側に伝える
 - ⑤ ケアプラン作成に家族も参加する
5. 「身体拘束」と出会った際の働きかけ（事例より）
 - ① 両手に拘束の跡
 - ② 転倒防止のため薬使用
6. おわりに